



皆様とともに50年  
Since 1972

—記者発表資料—

令和4年12月16日

日本下水道事業団

## 第48回下水道技術検定（第2種、第3種）及び第36回下水道管理技術認定試験（管路施設）における合格者の発表

日本下水道事業団は、本年11月に全国11都市で実施した第48回下水道技術検定のうち第2種及び第3種の合格者並びに第36回下水道管理技術認定試験（管路施設）の合格者を12月16日に発表しました。

- 合格者への発表方法は、12月16日に、日本下水道事業団のホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者本人に書面で通知しました。  
また、日本下水道事業団研修センター（埼玉県戸田市下笹目5141）の庁舎内に合格者の受験番号を掲示しました。  
なお、第1種技術検定の合格発表については、令和5年2月3日（金）に行う予定です。（[https://www.jswa.go.jp/gijutsu\\_nintei/04happyo2.html](https://www.jswa.go.jp/gijutsu_nintei/04happyo2.html)）
- 第2種、第3種技術検定の合格者の状況は、次のとおりです。  
第2種の受検者は854人、合格者は297人であり、合格率は34.8%となっています。  
同じく第3種の受検者は4,744人、合格者は1,527人、合格率は32.2%となっています。（別紙1参照）
- 下水道管理技術認定試験（管路施設）の合格者の状況は、次のとおりです。  
受検者数は、1,571人、合格者は640人であり、合格率は40.7%となっています。（別紙1参照）
- 下水道技術検定（第2種、第3種）、下水道管理技術認定試験（管路施設）における合格基準点は別紙2に記載のとおりです。
- 下水道技術検定合格者は、一定の実務経験を経て、下水道法第22条に定める有資格者となります。  
下水道管理技術認定試験（管路施設）の合格者は、管路施設の維持管理技術について、一定水準以上の技術力を有していることが認定されます。  
なお、「下水道処理施設維持管理業者登録規程」（昭和62年建設省告示）により登録を受けようとする維持管理業者は、第3種技術検定に合格し、一定の実務経験

を有する者を登録しようとする営業所ごとに置くこととされています。

<問い合わせ先>

日本下水道事業団研修センター

次長兼管理課長 黒崎 信厚

電話 048-421-2691

## (令和4年度)第48回下水道技術検定・第36回管理技術認定試験合格者数等一覧

令和4年12月16日

日本下水道事業団

試験地	第2種技術検定			第3種技術検定		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
札幌	名 29 (20)	名 14 (7)	% 48.3 (35.0)	名 217 (229)	名 67 (74)	% 30.9 (32.3)
仙台	82 (90)	19 (18)	23.2 (20.0)	338 (331)	99 (99)	29.3 (29.9)
東京	215 (258)	74 (107)	34.4 (41.5)	1,241 (1,264)	460 (501)	37.1 (39.6)
新潟	26 (34)	6 (16)	23.1 (47.1)	214 (238)	78 (78)	36.4 (32.8)
名古屋	111 (108)	40 (25)	36.0 (23.1)	540 (559)	200 (240)	37.0 (42.9)
大阪	139 (149)	66 (50)	47.5 (33.6)	959 (1,058)	277 (362)	28.9 (34.2)
広島	60 (43)	20 (16)	33.3 (37.2)	257 (286)	82 (98)	31.9 (34.3)
高松	72 (54)	20 (19)	27.8 (35.2)	293 (290)	78 (92)	26.6 (31.7)
福岡	91 (89)	33 (23)	36.3 (25.8)	516 (515)	144 (161)	27.9 (31.3)
鹿児島	25 (43)	5 (13)	20.0 (30.2)	99 (107)	30 (34)	30.3 (31.8)
那覇	4 (13)	0 (3)	0.0 (23.1)	70 (58)	12 (12)	17.1 (20.7)
計	854 (901)	297 (297)	34.8 (33.0)	4,744 (4,935)	1,527 (1,751)	32.2 (35.5)

試験地	認定試験(管路施設)		
	受験者数	合格者数	合格率
札幌	名 59 (36)	名 22 (13)	% 37.3 (36.1)
仙台	101 (81)	41 (27)	40.6 (33.3)
東京	496 (532)	193 (220)	38.9 (41.4)
新潟	37 (56)	17 (30)	45.9 (53.6)
名古屋	235 (239)	86 (78)	36.6 (32.6)
大阪	307 (263)	142 (119)	46.3 (45.2)
広島	63 (69)	25 (28)	39.7 (40.6)
高松	37 (36)	24 (15)	64.9 (41.7)
福岡	193 (209)	70 (59)	36.3 (28.2)
鹿児島	32 (40)	15 (20)	46.9 (50.0)
那覇	11 (8)	5 (1)	45.5 (12.5)
計	1,571 (1,569)	640 (610)	40.7 (38.9)

注 ( )内は前年度の実績である。

## 第48回下水道技術検定及び第36回下水道管理技術認定試験合格基準一覧

下水道技術検定（第2種、第3種）、下水道管理技術認定試験（管路施設）において、総合点数が下記表の合格基準点以上の者を合格としています。

## 記

試験区分		出題方式	出題数	満点	合格基準点
下水道技術検定	第2種	択一式	60問	60	43
	第3種	択一式	60問	60	44
認定試験	管路施設	択一式	50問	50	37

## 下水道技術検定

技術検定は地方公共団体における有資格者の早期確保などを目的に創設された制度で、合格した場合下水道法第22条の資格取得について必要とされる実務経験年数を短縮する特例が認められる。

技術の内容に応じて「第1種技術検定」、「第2種技術検定」、「第3種技術検定」の3区分に分かれている。

また、維持管理の包括的民間委託契約においては、民間事業者側に下水道法施行令第15条の3に掲げる資格を有する技術者を置き、業務に当たらせることが必要となっている（平成16年 国都下管第10号 下水道管理指導室長通知）。

検 定 区 分		検 定 の 対 象	試 験 科 目	試 験 方 法
<b>下水道 技術検定</b>	第1種技術 検定	下水道の計画設計を行うために必要とされる技術	下水道計画、下水道設計、施工管理法、下水処理及び法規	多肢選択式 及び記述式
	第2種技術 検定	下水道の実施設計及び設置又は改築の工事の監督管理を行うために必要とされる技術	下水道設計、施工管理法、下水処理及び法規	多肢選択式
	第3種技術 検定	下水道の維持管理を行うために必要とされる技術	下水処理、工場排水、運転管理、安全管理及び法規	多肢選択式

## 下水道管理技術認定試験

認定試験は、下水道管路施設の維持管理業務に従事する技術者の技術力を公平に判定し認証することにより、管路施設維持管理の健全な発展と技術者の技術水準の向上を図り、もって下水道の適正な維持管理に資することを目的にした制度である。

試 験 区 分	試 験 の 対 象	試 験 科 目	試 験 方 法
<b>下水道 管理技術 認定試験</b>	管路施設	管路施設の維持管理を適切に行うために必要とされる技術	工場排水、維持管理、安全管理及び法規